

～基幹理工学部～ 若手研究者の声

数学科 助教 (2015 年度 若手研究 B 採択)

研究費の獲得実績を人事採用の判断基準の一つとしているところが多いので、自分の今後のキャリアを考えると、科研費には応募した方が良く考えていました。

国内外の研究集会や学会などに複数回参加しようとする、個人研究費などの学内研究費だけでは足りないという事情もあったので、科研費のおかげで自分の裁量で出張に行けるようになり、とても重宝しています。

同じ数学分野でも、研究内容によっては個人研究費だけで研究を進めることが可能な分野もあるかもしれません。ただ、現在の任期終了後のキャリアのことを考えると、科研費を獲得して不利に働くことはないと思います。

また数学分野の場合は、実験装置などを必要としないので、次の赴任先で科研費テーマを継続できないという事態もないと思います。科研費応募時に次の赴任先が未定のため応募をためらうことがあると聞きましたが、気にせずに応募した方が良くと思います。

応用数理学科 助教 森倉 悠介さん

(2015 年度 若手研究 B 採択)

まだ自分自身の業績が少ないので科研費に応募するかを迷いましたが、獲得されている先輩から「業績はあるに越したことはないが、若手研究 B は研究目的や計画が書けていれば採用の可能性がある」とアドバイスを頂戴しました。また、たとえ不採用になっても大学から特定課題 B という助成金が支給されるため応募を決めました。

申請書作成には 2 週間程度かかりましたが、研究推進部のホームページに 100 件以上のモデル調書が公開されているので参考にしながら作成することができました。

科研費に採用されると自分の裁量で出張や設備購入ができるので非常にありがたいです。科研費で購入した設備は異動先にも持っていくことができるので、今後の継続研究という観点でも非常に助かります。また、他機関への就職の際も科研費の獲得実績が役に立つと聞いています。

応募前から不採用になることを考えて諦めずに応募してみてはいかがでしょうか。

機械科学・航空学科 准教授

(2014 年度 若手研究 他 採択)

本学に着任してから、若手向けの科研費に 3 回応募し、3 回採択されました。科研費の良いところは、自らの着想と興味に基づいて、新しい研究テーマをゼロから立案し、申請できる点です。さらに科研費に採択されれば、研究設備の拡充や学問的交流のチャンスが格段に増え、研究者としての自信も深めることができます。

科研費の申請書作成に際しては、決められたフォーマットの中で、読みやすく、分かりやすい文章を書くことに、いつも苦労します。特に、まだ結果が明らかになっていない研究の帰結を予想し、その重要性や波及効果を説得力のある文章にまとめる作業は、決して楽ではありません。しかし、幅広く情報収集しながら申請書を作成することで、当初の着想は次第に具体化され洗練され、申請書が完成する頃には、新たな研究のスタート地点に立っている自分に気付くことでしょう。科研費の申請においては、過去の研究業績以上に、研究提案の中に込められた冒険心が何よりも大切ではないかと感じています。

情報理工学科 助教 望月 義彦さん

(2011 年 研究活動スタート支援採択、

2014 年度 若手研究 B 採択)

研究活動スタート支援に応募した時は外部資金雇用の研究員でしたが、自分でテーマを持ち、自由に使用できる研究費を取得したかったという理由から応募しました。

次のポストのことを考えると、外部資金の獲得実績がある方が有利ですし、科研費は採択より不採択になる確率の方が高いので、あまり細かいことは気にせずに応募をしました。

申請書は 1 週間程度で書きました。今までやってきたこと、これから何をやるのか、を決められた様式にコンパクトにまとめるという経験はたとえ不採用になったとしても無駄にはならないと思います。

アカデミックの世界に残るつもりの方は今後のキャリアのためにも科研費に応募した方が良くと思いますし、早稲田大学には科研費に不採択となっても特定課題 B という学内助成金が受給できるという恵まれた環境があるので、利用した方が良くと思います。

表現工学専攻 次席研究員

(2011 年度 若手研究 B 採択、

2014 年度 挑戦的萌芽研究採択)

研究者を志す身として、主体的に自分独自の内容の研究を進めたいという気持ちがあったので、科研費の応募は必須と考えており、若手研究 B に応募しました。無事に採択され、若手研究 B が終了となった後は、挑戦的萌芽研究に応募しました。

挑戦的萌芽研究という研究種目では、独創的な発想に基づく、挑戦的で高い目標を掲げた研究計画が評価されます。その申請書では、他の研究種目と異なり、研究実績を全く書かなくてよいという特徴があります。しかし他方で、挑戦的萌芽研究には、大型の科研費に採択されているようなベテランの先生方も多く応募します。私が無事に採択されてひしひしと感じたのは、内容や申請書の書き方がしっかりしていれば、採択されるということです。

挑戦的萌芽研究が終了後は、これまでの研究を発展させて、より大型の研究費に応募したいと考えています。